

經濟財政諮問會議（令和2年第19回）
議事録

内閣府政策統括官（經濟財政運営担当）

経済財政諮問会議（令和2年第19回）
議事次第

日 時：令和2年12月8日（火）17:35～17:53

場 所：官邸2階大ホール

1. 開 会

2. 議 事

（1）令和3年度予算編成の基本方針

3. 閉 会

(西村議員) それでは、ただ今から経済財政諮問会議を開催したいと思います。

距離を取っておりますので、適宜マスクは外していただければと思います。

本日は「令和3年度予算編成の基本方針」について諮問・答申を行い、また、私から新たな経済対策についての御報告を行いたいと思います。

○令和3年度予算編成の基本方針

(西村議員) まず、「令和3年度予算編成の基本方針」について、資料1にありますように、総理から諮問を頂いております。

それでは、内閣府から、与党との調整も踏まえた取りまとめ案を説明します。

(林内閣府政策統括官) お手元にございます資料2をご覧ください。「令和3年度予算編成の基本方針」のポイントを簡単に御説明します。

1ページの「1. 基本的考え方」では、まず最近の経済情勢、経済財政運営の考え方と財政の現状を記した上で、③に国民の命と暮らしを守るため、感染拡大防止と経済社会活動の両立を図るとの考え方の下で、デジタル社会の実現やグリーン社会の実現といったことを進めて、ポストコロナの新しい社会を作っていくことを明記しています。

与党でもきちんとした経済回復を実現するのだという御意見があり、②の中ほど、「経済あつての財政」との考え方の下、経済財政運営に万全を期することや、「二度とデフレに帰ることがないように、デフレ脱却と経済再生の道筋を確かなものとする」という表現を入れています。

3ページ以降の予算編成についての考え方ですが、①で各種重要な政策課題に対応し、メリハリの利いた予算編成を行うことや、経済対策・第三次補正予算は「15か月予算」の考え方の下で、新たに令和2年度第三次補正予算と来年度の当初予算を一体として編成するといったことを記載しています。

③以降では、歳出改革の取組として骨太方針2020に基づいて経済・財政一体改革を推進することなどを記載しています。

(西村議員) 続きまして、先月11月10日に菅総理から策定の指示がございました経済対策について、与党との調整も踏まえ、資料3のとおり取りまとめておりますので、御報告します。

名称につきましては、総理と御相談し、「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」としております。

本経済対策は、この経済財政諮問会議の場における御議論を十分に踏まえた上で、GDPギャップがいまだ相当程度存在する中、決してデフレには戻さないとの決意で力強い対策を講じるべく策定したものです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に全力を挙げるとともに、感染症の厳しい影響に対し、雇用と生活をしっかり守ること、同時に、成長分野への民間投資を大胆に呼び込みながら、生産性を高め、賃金の継続的な上昇を促し、民需主導の成長軌道の実現につなげること、という2つの視点の下、予算・規制・税制と

いったあらゆる政策手段を総動員し、併せて防災・減災、国土強靱化の推進も盛り込んだ総合的な対策としております。

本対策の規模につきましては、最後のページとその前のページ、50ページ、51ページに書いておりますが、予備費10兆円も含め、財政支出で40兆円程度、うち国・地方の歳出は32.3兆円程度、財政投融资が7.7兆円程度となっており、本対策による直接的な経済効果は、実質GDP換算で3.6%程度と見込まれます。経済の下支えを図りつつ、設備投資をはじめ民間需要をしっかりと喚起し、経済の好循環につなげてまいります。

それでは、ただ今説明のありました「令和3年度予算編成の基本方針」答申案に関し、何かございましたら御発言をお願いしたいと思います。また、経済対策につきましてもございましたら併せて御発言を頂ければと思います。いかがでしょうか。

では、新浪議員、お願いします。

(新浪議員) ありがとうございます。

まずは、民需主導を掲げて需要を喚起する、これをコアに大胆なる規模の財政措置を講じていただきまして、感謝申し上げます。一方で、短期的には2021年の第1四半期の落ち込み、これは大変予想される場所なのですが、是非それを阻止すべく、予備費を含めて、前回申し上げたとおり早期に予算執行ができるようお願いしたいと、このように思います。また、その進捗管理もしっかり行うべく、内閣府、そして、財務省、総務省でチェックし、随時、経済財政諮問会議に御報告いただきたいと、このように思います。

そして、民需拡大ではありますが、そのためにも、一度申し上げましたが、組織の硬直化という日本企業の悪い姿勢を何としても打破すべく、私は何といたっても人材の多様化を確保し、そして、コーポレートガバナンスを再度強化していくことが大変重要であると、このように思いますので、こちらの中にも書かれていますが、早急にこれを図っていただきたいと思います。

また、財政が大規模になればなるほど、より一層EBPMでワイズスペンディングにつなげていかななくてはいけない。そのために、正に財政効果をしっかりと上げていく、この上昇効果を上げていくことが非常に重要ですので、EBPMをしっかりと活用していただきたいと思います。

また、足腰の強い持続的な経済成長に戻していく、そのために家計を守って成長分野で雇用を創出し、そこへ人材が流れていく仕組み、そして、デフレに戻ることはないように同時に賃金を上げていく必要があると思います。成長分野への円滑な労働移動というのは前々から言われていましたが、この経済対策でしっかりと取り上げていただいております。是非これを実行していただきたいと思いますし、日本経済が長年抱える大きな課題であったと思います。成長分野に人材が移動していくということがなかなか行われてこなかった。これを契機に是非とも実現していただきたいと思います。

そしてまた、これを機に東京一極集中の打破を実現していただきたい。そのために全国にスマートシティを構築していただき、是非とも都心から地方への人移動できるように、

これを円滑に是非やっていただきたい。そして、地方でもテレワークが推進できるように
よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

(西村議員) ありがとうございます。

では、次に、柳川議員、竹森議員の順番でお願いします。

(柳川議員) ありがとうございます。

まず資料2の予算編成の基本方針については、諮問会議で議論されたことがきっちり反
映されているものだと思いますので、了承したいと思ひます。

それから、対策のところは、新浪議員からもお話がありましたように、経済財政諮問会
議で議論されてきたようなポイント、特にGDPギャップをしっかりと埋めていくところの
対策が非常にしっかりと出されているという意味では大変ありがたい対策になっていると
思ひます。

それと同時に、やはりこれの成果をきっちり出していく、結果を出していくことが望ま
れますので、執行の部分は私もしっかりと確認させていただきたいと思ひますし、それが本
当に対策としてしっかりと効果をどの程度生み出しているのかということも、EBPMの
お話がありましたけれども、EBPMとしてしっかりとこれは評価をしていく、データを取っ
てできれば評価をしていくことが望ましいと思っております。いずれにしても、これだけ
の対策がこの先の経済に大きなプラスになることを期待しております。

その上で、やはりポイントとしては、新浪議員からもお話がありましたけれども、この
36ページから展開されている人の流れということで、成長分野への円滑な労働移動等の雇
用対策パッケージということで、全体を大きなパッケージとして示されたことに意義があ
ると思っております。特にリカレント教育だとか転職支援というのは、これから強化が非
常に重要になってくる部分だと思いますので、ここの部分がしっかりとした対策として取
りまとめられているという点は重要だと思いますし、その結果としてのやはり地方への人
の流れの促進ということも重要です。

それに加えて、コーポレートガバナンス・コードの改訂というところでは、新浪議員か
らもお話がありましたけれども、女性、外国人、中途採用者の登用を通じた多様性の確保
ということはやはり私もとても重要だと思っております。

それから、書かれています税制の部分です。税制でインセンティブを付けていくとい
うことも非常に重要だと思います。事業再構築・再編に向けた投資に果敢に挑む企業につ
いては、税制上の優遇措置を講ずることを検討するということがしっかりと書かれています。

それから、雇用増や賃上げ等の所得拡大を促す税制措置も考えるということは書かれて
おりますので、これらをしっかりと進めていくべきだと思っております。

さらに言えば、金融の部分は少し先の話になるかもしれませんが、金融資本市場
の魅力向上策というのは、私は将来的に非常に重要なところだと思っております。注に
書かれていますのですが、セキュリティ・トークン・オファリングの発行等の整備であると

か、非上場株式の発行・流通市場の活性化というのは、新しい企業、新しい取組を促していく上でもとても重要だと思っておりますので、こういうところをしっかりと進めていただきたいと思います。

それから、輸出拡大を軸とした農林水産業の活性化の話、旅行需要の回復の話が書かれています。私は、これはセットでしっかり進めていくべきだと思っております、やがてコロナが収束してきた時に、インバウンドの方々が入ってきた時には、その人たちにある意味で経験してもらうことが将来、日本の農林水産業が外に向かって輸出を増やしていく、そういうものをどんどん購入してもらうということにつながると思っておりますので、この辺りもセットで対策として考えていくことが重要ではないかと思っております。

それから、最後に、やはり標準の活用の推進、戦略的な活用という話がございます。やはりグローバルにいろいろ競争力を高めていく上では、日本企業が、あるいは日本政府の作るルールが国際標準になっていくことがかなり重要だと思っておりますので、この点は是非進めていただきたいと思います。

以上です。

(西村議員) ありがとうございます。

それでは、竹森議員、お願いします。

(竹森議員) まず、規模的に申しまして、昨今、34兆円のGDPギャップをここで何度か問題にしましたけれども、それに対応できるかなり大きな数字が出ているので、規模的には大変結構だと思います。

「命と暮らしを守る」というのが最初の部分の一つのキーワードですね。とりあえず、対面接待をしているビジネスは非常に困っていて、その企業も労働者も困っている。感染対策として彼らの生活を保障しながら休業もお願いするようなことがあるので、そのための予算を十分に入れてあると思います。ビジネスの問題がひいては金融システムに波及するのが最悪の展開ですが、それに対する手当ても、いろいろな形で、ここに備えてあります。

それから、安心と希望は非常に関連する言葉だと思っております、安心ということは必ずしも財政措置だけでは確保されなくて、今回、デジタルの仕組みの不十分さから、政府からの支給が遅れたり、医療体制の硬直性によってなかなか感染症に人材を向けられない問題が出てきたりした。さらに、データの不足の問題もあって、今後、所得等のデータを把握するために、マイナンバーカードを活用する必要が出てくる。こういった対応はこの財政措置と同時に進めていただきたいと思います。

その上で希望について語れるのですけれども、今回の対策は、どういう需要を生み出すかというのに社会を転換させるような投資を盛り上げ、それで総需要を作るところにポイントがあって、それは非常に良いことだと思います。例えば基金を設けた項目がデジタル化、グリーン化、それから、大学のファンドを設けて、これ等の重点分野を長期的な計画でプッシュしていくことが非常に重要だと思います。幸いなことに民間の動きが今、

これと合致しております、トヨタがグリーン化の促進のために、水素エネルギーを推進することを打ち出しております、これについてのイニシアティブを内閣の方もサポートをするものと考えております。

それから、NTTシステムがこれからIT関連の投資を増やすために1兆円の起債をしてシステムを拡充する。フィンランドのノキアは一時、携帯で駄目だったのが、システム会社になって大きく発展しましたから、システムも非常に将来性が見込める分野だと思います。大事なことは、世の中が本当に変わっているということを国民が実感し、それに対応して早い機会に自らも対応していくことだと思う。

Society 5.0、私は素晴らしい計画だと思いますが、あまりにも遠い話のように見えて、それに対してここで提案しているグリーン化、デジタル化、これらは早く目に見える形で成果が出てきて、なるほど、これから世の中が変わるのだから我々も積極的に投資していこう、働いていこうというように、企業と働き手の精神が変わっていくことを望んでいますので、早期にこの予算が執行されて実際の成果が生まれるように見守っていただきたいと思っております。

以上です。

(西村議員) ありがとうございます。

他に何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、「令和3年度予算編成の基本方針」につきまして、お手元の案を経済財政諮問会議として答申することを決定したいと思います、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

(西村議員) ありがとうございます。

それでは、本案を答申として決定させていただきたいと思えます。

この総合経済対策と予算編成の基本方針は、この後の臨時閣議において決定する運びとなります。今日、民間議員から頂いた御意見につきましては、しっかりと受け止めて今後また御報告もさせていただければと思えます。

それでは、総理から御発言を頂きます。よろしいですか。

それでは、プレスを入室させます。

(報道関係者入室)

(西村議員) 菅総理、お願いします。

(菅議長) まずは新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために全力を挙げ、その中で雇用を守り、事業を継続し、経済を回復させるべく取り組んでまいります。

新型コロナウイルスについては、短期・集中の対策として、全国8都道府県で営業時間

短縮要請が行われており、1か月前と比べて大阪のミナミでおおむね3割の減となるなど人出が減り始めています。引き続き、御協力いただいた全ての店舗に対して、国としてもしっかり支援していきたいと思っておりますし、今後も各地の状況をよく見て効果的な対策を講じてまいります。

この後の臨時閣議で新たな経済対策を決定します。医療機関や高齢者施設などの支援、雇調金や企業の資金繰り支援などに加え、グリーンやデジタルなど、新たな成長に向けた対策を盛り込んでおり、直接の経済効果としてはGDPに換算をして3.6%程度と見込んでおります。

さらに、来年度予算については、本日答申いただいた「基本方針」に沿って、感染対策をしっかりと講じた上で経済の回復を実現するため、これまでの改革を推進しつつ、それぞれの政策課題に必要な予算措置を講じるべく、今後、最終的な検討を行ってまいります。

以上です。

(西村議員) プレスの皆さんは御退室をお願いします。

(報道関係者退室)

(西村議員) 以上で本日の会議、終了します。

どうもありがとうございました。